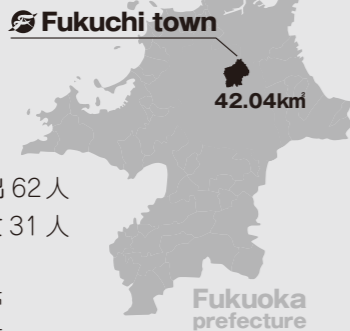


Population 人のうごき (福智町の人口)

●人口 25,271人
 前月比 - 27人
 前年比 - 354人
 男性 11,947人
 女性 13,324人
 転入 49人・転出 62人
 出生 17人・死亡 31人
 ●世帯 11,182世帯
 前月比 - 1世帯
 前年比 - 20世帯
 ※平成22年5月末現在 (住民基本台帳人口)



お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長
 市電はひかえさせていただきます

Tax おさめて安心 (税の納期限)

- 固定資産税 [2期] 8月2日 〇が納期限です
- 国民健康保険税 [1期] 8月2日 〇が納期限です

Event テクホー net (近隣の催し)

【飯塚市】第89回飯塚納涼花火大会
 8月3日 〇 20時～21時
 (飯塚市遠賀川中ノ島) ※交通規制あり
 長い歴史をもち、毎年10万人が訪れる恒例の花火大会。打ち上げ花火が6千発、ナイアガラの滝をはじめ、大規模な仕掛花火を首が痛くなるほど間近で見ることができます。
 〇 飯塚商工会議所 ☎0948-22-1007

飯塚駐屯地夏まつり
 8月5日 〇 17時30分～21時
 雨天の場合は翌日に順延
 (飯塚駐屯地グラウンド)
 会場には模擬店が並び、盆踊りに打ち上げ花火、駐屯地女性太鼓部による演奏やバナナのたたき売りがあります。
 〇 飯塚駐屯地広報室 ☎0948-22-7651

【添田町】第14回そえだ夏まつり
 8月7日 〇 18時～ 雨天の場合翌日に順延
 (そえだサン・スポーツランド)
 勇壮華麗な「ねぶた」の練り歩きと3千発の花火大会が、夏の夜を盛り上げます。
 〇 添田町役場 商工観光係 ☎82-1236



Medical health

保健の掲示板

7月16日から8月15日までの保健事業日程

- 7月16日 〇【健康相談】
 健診結果や介護など相談希望者を対象
 [会場]コスモス保健センター [受付]13:30～15:30
- 7月21日 〇【4～5か月児健診】
 4～5か月児を対象(個人通知します)
 [会場]コスモス保健センター [受付]13:00～14:00
- 7月21日 〇【乳幼児相談】
 2か月児と、身体計測や育児相談などの希望者を対象
 [会場]コスモス保健センター [受付]14:30～15:00
- 7月22日 〇【ポリオ(小児マヒ)予防接種】
 3～18か月児を対象(7歳5か月まで接種可)
 [会場]方城保健センター [受付]13:20～14:20
- 8月4日 〇【3歳児健診】
 3歳～3歳1か月児を対象(個人通知します)
 [会場]コスモス保健センター [受付]13:00～14:00
- ※金田・方城地区での健康相談をご希望の場合は、コスモス保健センターにお問い合わせください。各保健センターなどで、ご希望に応じた予約制の健康相談を実施いたします。
- 「愛の献血」にご協力を
 日程：7月26日 〇 10:00～11:30、12:30～16:00
 場所：福智町役場 本庁舎
 対象：体重が50kg以上で18歳～69歳の健康な人(65歳以上の場合は、60～64歳の間に献血をしたことがある人)
- 〇 コスモス保健センター ☎28-9500

Vaccination

【対象期間内に2回のワクチン接種を！】
 麻しん・風しんの予防接種を受けましょう

麻しん風しんにかかっていない人で、麻しん風しんワクチンを2回受けていない人は、接種期間内に予防接種を受けましょう。期間内は無料で受けられます。

- 対象：第1期 ▶ 1歳の人(生後12か月～生後24か月未満)
 第2期 ▶ 小学校就学1年前の人(年長児)
 第3期 ▶ 中学1年生に相当する年齢の人
 第4期 ▶ 高校3年生に相当する年齢の人

期間：平成23年3月31日まで
 ※接種期間内であれば無料で受けられます。
 接種医療機関：田川地区の定期予防接種協力医療機関
 ※「平成22年度福智町母子保健行事予定表」を参照。

〇 コスモス保健センター ☎28-9500

子ども手当、子どものために使いませんか？

肺炎球菌って？
 小児科を受診する子どもたちの病気の原因として、子どもも多い菌のひとつで、子どもの多くがのどや鼻の奥にもついているとても身近な菌です。いつもはおとなしくしている菌ですが、体力や抵抗力が落ちたりして体の中に入り込むと、中耳炎や肺炎、さらにはこわい菌血症(菌が血液の中に入り込んだ状態で、細菌性髄膜炎のひとつ前の状態)や細菌性髄膜炎になることがあります。肺炎球菌はまわりにとっても硬い殻を持つ菌なので、からだを守ろうとしてはたらく白血球によってやっつけることが難しい毒性の強い菌です。

肺炎球菌ワクチンは受けたほうがいいの？
 細菌性髄膜炎は、ヒブ型(インフルエンザB型)ワクチンと肺炎球菌(プレバナー)ワクチンを接種すれば約8割が予防できることがわかっています。また、中耳炎や肺炎などの病

予 防 接 種

知っておきたい
 子どもの



気も予防することで、子どもの病気のために仕事に休まずに済むなど、保護者にとってもメリットは大きいといえます。ワクチンは有料ですが、子ども手当も支給されます。子どものため、そして自分たち保護者のためにも予防接種を受けたいことを検討してみませんか。



接種料金は？
 どこで接種できるの？
 接種料金の設定や接種日等は医療機関により異なります。かかりつけの医療機関や小児科に問い合わせましょう。

肺炎球菌予防接種
 スケジュール

- ① 生後2か月以上7か月未満は、27日間以上の間隔で3回接種して、1歳～1歳3か月で1回追加接種。
- ② 生後7か月以上1歳未満は、27日間以上の間隔で2回接種して、2回目から60日以上経過後に1回追加接種。
- ③ 1歳は、60日以上の間隔で2回接種。
- ④ 2～9歳は、1回接種。

豆 知識

保健師
 だより
 No.42

〇 コスモス保健センター
 ☎28-9500

ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチン…。最近よく聞きますが、この3つはどれも定期の予防接種ではなく、保護者の意思でお金を払って受ける任意の予防接種です。今回は、肺炎球菌ワクチンについてお話します。



いつ接種するの？
 肺炎球菌は、ヒブと合わせてと細菌性髄膜炎の4分の3を占めます。5歳以降になるとヒブによる感染症はほとんど起こらなくなり、肺炎球菌による感染症は成長しても一定の頻度で発症することから肺炎球菌は9歳まで接種します。予防接種スケジュールは、次のとおりです。

